

第1回生駒市総合計画審議会（全体会）

1. 開催日時 平成29年7月4日（火） 13:30～

2. 開催場所 生駒市役所 401・402会議室

3. 出席者

（委員） 中川委員、久委員、高取委員、楠下委員、中谷委員、福谷委員、藤尾委員、森岡委員、村上委員、吉田委員

（事務局） 坂本市長公室長、坂谷政策企画推進課長、岡村政策企画推進課課長補佐、日高政策企画推進係長、片山政策企画推進係員、(株)グリーンエコ近藤氏

欠席者 谷中委員、中山委員

傍聴人 なし

4. 議事内容

1 辞令書の交付

2 会長選出及び会長代理の指名

3 諮問

4 市長公室長挨拶

5 案件

(1)会議の公開について

(2)諮問事項について

後期基本計画の進行管理について

6 その他

5. 資料

【事前配布資料】

会議次第

[資料1] 生駒市総合計画審議会条例

[資料2] 生駒市総合計画審議会委員名簿

[資料3] 諮問書（写）

[資料4] 会議公開の取扱（案）

[資料5] 後期基本計画の進行管理について

[資料6] 進行管理検証シートの見方

[資料7] 市民満足度調査について

[資料 8] 市民満足度調査 調査票

【当日配布資料】

[資料 9] 検証シート

[資料 10] 進捗度記入票

[資料 11] 質問票

[資料 12] 市民満足度調査結果（概要版）

6. 議事録

開会

【事務局】 ただいまから第 1 回生駒市総合計画審議会を開催する。
（資料 1 及び総合計画について説明）

1 辞令書の交付

【事務局】 まず初めに委員にご就任いただく皆様に辞令書を交付させていただく。任期については、6 月 22 日から 2 年間ということでお願いしたい。

委員紹介

【事務局】 続いて、ご就任いただいた各委員の皆様を紹介させていただく。
（資料 2 の名簿順に順次紹介）

事務局紹介

【事務局】 続いて、事務局職員を順に紹介させていただく。
（事務局順次紹介）

2 会長選出・会長代理の指名

【事務局】 それでは、続いて審議会の会長選出及び会長代理の指名に移らせていただく。本審議会には、資料 1 の条例 5 条の規定に基づいて、委員の互選により会長を定めることになっている。また、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する委員が、その職務を代理することとなっている。

初めに、会長の選出について、委員の皆様、意見はないか。

【久委員】 後期の基本計画の際から、ずっと会長を務めている中川委員にお願いしたいが、いかがか。

【事務局】 ただいま、会長に中川委員にお願いしたらどうかというご意見があ

ったが、委員の皆様、いかがか。

<異議なしの声あり>

【事務局】 中川委員、会長の役をお引き受けいただけるか。

【中川委員】 はい。

【事務局】 それでは、会長に中川委員にご就任いただく。

続いて、会長代理の指名をお願いしたい。中川会長、どなたかご指名いただけるか。

【中川会長】 久委員に、引き続き助けていただくと連続性も保てていいかと思う。

<拍手>

【事務局】 それでは、会長代理に久委員にご就任いただく。

それでは中川会長にご挨拶をお願いしたい。

【中川会長】 (中川会長挨拶)

3 諮問

【事務局】 続いて本審議会に対して諮問を行う。

(中川会長、市長公室長、前方に移動)

【事務局】 平成 28 年度の後期基本計画の進行管理について諮問させていただきます。

(市長公室長から中川会長に対し諮問書を手渡す)

4 市長公室長挨拶

【事務局】 続いて、坂本市長公室長より挨拶を申し上げます。

【事務局】 (坂本市長公室長挨拶)

5 案件

(1) 会議の公開について

【事務局】 それでは、会議次第に従って案件に入る。

条例第 6 条において会長が議長となるので、ここからの議事については議長に進行をお願いします。

【中川会長】 案件の 1 番目、会議の公開について、お諮りをお願いします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】 (資料 4 について説明)

【中川会長】 今、説明いただいたとおりだが、そのように取り計らっていいか。異議はないか。

<「はい」の声あり>

【中川会長】 それでは、会議の公開については、資料4の通りに扱う。

(2) 諮問事項について

【中川会長】 続いて、案件が2番目の諮問事項について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 (資料2-2、資料5、資料6、資料9、資料10、資料11、資料12について説明)

【中川会長】 本日、経験者メンバーを除いた人たちに、後期基本計画の進行管理をどうするかについてブリーフィングする機会を設けているのか。

【事務局】 はい。今回新たに就任した委員について、会議が終了後、もう少し詳しい説明をする準備をしている。

【中川会長】 はい、承知した。

今回も担当課のヒアリングはしないという方法である。なぜかというところ、こちらから出る質問を向こうに通告していないので、資料が出にくく、一種のミスマッチが起り、うまく対話ができない。だから、前もって質問を出して、それを元に事務局から返してもらうというこのほうが、効率的だということがわかったので、今回も担当課の出席は求めない。

【森岡委員】 それでは、今の説明の内容に関して、委員の皆様の見解等はないか。今まで委員として経験してきた中で、当日、他の委員の見解を聞いて、新たな質問や、意見が出たりするので、そのことも考慮していただきたい。

【中川会長】 質問が専門的になるので、質問を持ち帰って、次の会議時に報告したり、会議が終了しているのなら個人間でやりとりするといった方法を以前もとったことがあるので、今回も考慮していただきたい。

それでは、各部会の部会長を、選任していただきたいのだが、学識経験者がそれぞれ一人ずつ配置されているので、学識経験者に部会長を務めていただくということをお願いしたいのだが、いかがか。

<「はい、結構です」の声あり>

【中川会長】 それでは1(部会)が私で、2(部会)が久委員で、3(部会)が高取委員をお願いします。

【中川会長】 では、委員の皆様から、意見等を一言ずつお願いしたい。

【藤尾委員】 今、市民が何かをするというのが当たり前の時代になっている。しかしながら、頑張りたいが何をしたらいいのかが分からず、何か言ってくれたらする、という市民が多いと感じている。それをどう活動に活かすか、また、行政の力・市民力をどう養っていくかということが、

大きな課題であると感じている。

【村上委員】 自分自身が、高齢化してきているので、福祉とか老人問題を勉強させていただけたらという立場で参加しているので、ご指導をお願いしたい。

【吉田委員】 子どもに手がかからなくなり、今回参加した。勉強させていただくという気持ちで今回来ている。

【楠下委員】 外部から見ると行政の仕組みが見えない点があるが、こういった取り組みや戦略を進めているかという事を総合計画として形にしてもらえると、市民の目ではっきり理解してもらう事ができる。審議会を通じて客観的に評価をし、より良い取り組みを目指して幅広く意見を集約して、次の計画に結び付けていくという意味で、今回の役割というのは非常に大きいと感じている。

【中谷委員】 私は2年前まで市の経済振興課で仕事をし、基本計画に携わってきた。委員に入らせてもらった限りは、より実現性のあるものに持っていきたい。

あと、先ほど担当職員にヒアリングしないという件が挙げたが、話してるときに聞きたいことがあると私も思うので、できれば待機して、即答できるような方に来ていただけたらありがたい。

【福谷委員】 子どもが大きくなり、市のために何かしたいなというのを感じており、どうしたらいいのかわからない状況であったが、消防団の募集を見かけ、参加した。何かしたいという方は、たくさんいると思うが、何をしたらいいのかわからないというのがあるので、きっかけがあれば、いろんな市民の方が参加することができるのではと思っている。

また、市民アンケートの結果が、このような大きいまとめになって、色々な方が審議して、生駒をより良くしていくというのを知ったので、こういう取り組みしているということ、大勢の方にアピールしていくことが、参加のきっかけになるのではないかとと思っている。

【森岡委員】 私はこれまで、総合計画を補強するという意味合いで意見を出してきており、少しでも実際に行政、市民の活動そのものが広がっていけばいいと感じている。

また、行政の活動も含め、市民活動が大きく変わりつつあり、協働ということで、市民の活動に合わせるのではなく、行政の活動も、変わっていかねばいけない。ただ、どうしても同じ傾向に陥りやすいので、新たな視点で意見を出したいと思っている。

【高取委員】 私の専門は医療、介護、福祉、健康づくりだが、自助、共助、公助という言葉を目にする機会が多く、福祉とか健康づくりに親和性の高

いキーワードだという理解であったが、今回の、全体の計画の市の基本理念の中に、自助とか共助という言葉が入っているので、全ての市の羅針盤となるようなところに深く入っていると、改めて実感した。そういう目線から、進捗状況等を確認する機会をいただき、すごく光栄なことだと思っている。

【久会長代理】

毎年、大学の評価をしているが、自分たちがやってるものの質を高めていくためには、やりっぱなしにしないということ。自分で自分を評価しながら高めていくという作業を、市の職員にもお願いをしていると思っているし、そのあたりの自覚みたいなものも出てきていると思っている。

もう1つは、効果として出ているかどうかということまでいかなないといけない。行政の頑張り、市民の頑張りが合わさって、初めて効果が出てくることのほうが多いと思うので、それが本当に効果として出ているかどうか、一緒に考えていくという部分も重要だと思っている。

最後に、市役所の内部の評価のとき、自分の部署は、ここを頑張り、これだけ効果が出たということをもっと表に出していただきたいと思っている。そうすることで、市民にもわかりやすい総合計画になると思う。

今、ある市で総合計画の基本計画部分を見直しており、市長が、市民力をつけていかなければいけないということで、この5年間は生涯学習を重点的にやっている。それも趣味教養の生涯学習ではなくて、市民力をつけるための生涯学習をやって、それを、地域とか社会に還元していくという仕組みを動かしている。例えば、他市で実施している事業では、その点を大きな柱にして、立ち上げからずっと市民が主体の実行委員会で企画運営して、すごいところまで行っている。生駒の場合は、市役所が動き過ぎている。実行委員会形式で、皆が企画をして、皆が講師になって、皆が受講生になるというような方式に早いうちに切り替えたほうがいい。市役所は一定のところまではお膳立てをする必要はあるのだが、そこから先は市民が勝手にやっていくという分野を、どんどん増やしていくような、それを1つの柱として次の総合計画のときに反映できたらと思うし、現状では、市民と行政の協働が、どのあたりまでいけているのかというのを、評価をすることも興味を持って見ているので、それぞれの委員から、自分のこういうところを重点的に見たいというのを持つと、自分なりに評価しやすくなるのではないかと思う。

【中川会長】

まず、総合計画というのは、正式名称ではなく俗称で、全国共通で総合計画という言葉を使っており、正しくは基本構想と言い、現在の総合計画も、基本構想と基本計画の二段構えになっている。基本構想というのは大体10年から15年スパンで、こんなまちにしたいということイメージに定め、要議決事項であった。それがあって、その下に前期5年、後期5年という基本計画を張り付けて、行政がそれに向かって進むというのを、日本全国でつくっていた。

ところが、地方自治体の義務づけ条項から外れ、多くの自治体は岐路に立たされたが、自分たちの個性的なまちづくりは自分たちの手で、大多数の自治体は決断した。

その結果、あちこちの自治体で自治事務を中心としたまちづくりのイメージをはっきりさせるための自治基本条例などが制定されていくという流れが生まれた。そこで、生駒市も新自治法時代の総合計画を、どうするかという大きな改革の地点に立った時期があった。そのような流れの中で、事務局には頑張ってもらった。生駒市の総合計画は、自治基本条例で議会の議決を経る計画で、権威のあるものである。

だから、進行管理をする上において、この審議会が班に分かれて、各部門ごとに成績評価をするという、お目付け役にもなったわけである。そういうわけで、その時点で生駒の総合計画は、日本でも最先端の総合計画と言われるところまでモデル化された。この今の生駒の総合計画をモデルとして、県内の各自治体の総合計画は、どんどん変わっていった。その功績は認めてあげていただきたい。義務付けられた時代の計画ではなく、自分たち自身で覚悟を持って、責任を持ってやる計画の時代が変わったとご理解いただけたら嬉しい。

次に、評価というのは、かつてはコスト評価ばかりやった。これは反省の段階に入っていて、次はパフォーマンスの評価と、久会長代理が発言した。そこを議論するということになってると私も思う。

一時期は、二言目には民間が、と言う人もいたが、民間ではマーケティングの手法も行政とは違い、ソーシャルマーケティングと民間のマネジメントマーケティングとは思想が違う。だから、同じ手法を使って成功するように見えるのは、コストダウンだけである。パフォーマンスを上げるのと、それからアウトカム、つまり有効性成果を出すのは違う。そういう意味で、この総合計画を評価判定するというのは、非常に私たちも神経を使うところで、真摯な気持ちで取り扱わなければいけない。

それから、高取委員から、自助、共助、公助というのは、計画書の中にも思想として生きているとご指摘をいただいた。恐らく共助の中には住民自治の地域とかNPO含めて入っていると思うが、そこに新たに協働でやるべきこと、行政と地域の協働とか、行政と企業の協働とか、そういう思考を、次の第6次のときには、もう少し濃厚に入れられないかというのが、私個人の思いである。

最後に、久会長代理が言った生涯学習は大事で、公共という名前がつく限りは、もっと能動的で積極的な役割がある。教えた人が教わる人に、教わった人も、いつかは皆に教えていくという、分かち合いの精神で、そういう社会、仕組みを使って、住民自治力を上げていく、その方向に向かった何か舵の微妙な踏み込み、アクセルを入れるようなことを、次の第6次では考えたかどうかと考えている。

たくさんの委員からいただいた意見を踏まえた上で、そういう6次に対する示唆も出ていると思ったので、まとめた。

以上で本日の会議の案件は終了するが、事務局から伝達事項をお願いする。

6 その他

【事務局】 (今後のスケジュール等について説明)

閉会

【中川会長】 それではこれをもって第1回生駒市総合計画審議会全体会は閉会する。